

堺市下水道事業長期構想策定に関する研究

全体期間

2005.6～2007.3

(目的)

本業務は、堺市における下水道事業の現状と計画を整理し、今後の事業の進め方について検討するとともに、学識経験者等で構成する堺市下水道事業長期構想策定懇話会（座長：小山修平大阪府立大学教授、設置者：堺市）からの提言を受け、さらにアンケート調査の実施等により、市民のニーズを反映した今後の下水道事業の基本方針となる下水道事業長期構想を検討するものである。

(結果)

(1) 市民アンケート結果

市政モニター498人を対象として、アンケートを実施した。アンケートの回収率は96.4%と非常に高く、堺市民の水環境に対する意識の高さを確認できた。設問は3つのカテゴリー（水環境・下水道事業・自由意見）に分けて行い、傾向は以下の通りであった。

① 水環境について

以前に比べて悪くなっていると感じている市民が多数を占め、「身近で、きれいで、安全な水辺が欲しい」との意見が多数を占めていた。

② 下水道事業について

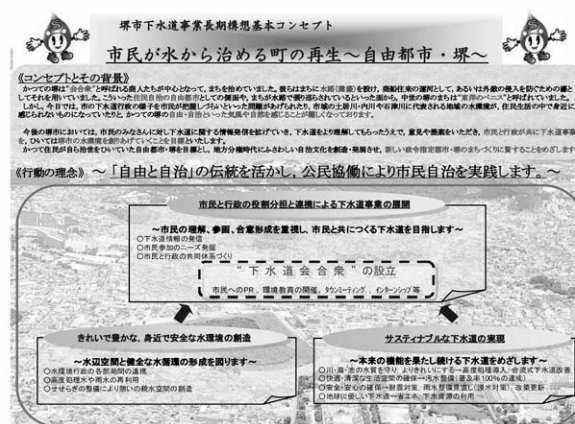
従来の役割と今後の役割の認知度並びに事業実施要望度とともに、情報量及び事業の進め方などについて設問した。その結果、多くの市民が汚水整備・浸水対策に加え、資源の有効利用や地震対策についても強く要望していることがわかった。

③ 情報発信について

不足していると考えている方が多数を占めた。また、今後事業を進めるに当たり、計画段階から市民が何らかの形で参画すべきという意見が多数を占めた。

(2) 基本コンセプト

基本コンセプトは、市民アンケート結果並びに懇話会意見より、市民参加意識の高い堺市らしさを盛り込み、市民と行政の連携を基本理念とするとともに、理念を具現化するための「下水道会合衆（えごうしゅ）」の設立を提唱した。



(今後の予定)

以下の事項を検討し、懇話会における意見を反映し、長期構想の素案を作成する。

- ① 基本理念を具現化するための「下水道会合衆」の設立シナリオづくり
- ② 施策の優先順位
- ③ 事業スケジュールの作成

堺市からの受託研究

研究担当者：堀江 信之、伊藤 昭彦、渡邊 俊光、木下 勝也

キーワード

市民協働，長期構想